



道標

みち

しるべ

2014/1/15
NO. 90

〈編集・発行〉

東中3年

進路指導部

《学年末テスト終了》

中学校生活最後の校内テストが終わりました。冬休み学習した力は発揮できたでしょうか。また、提出物も期限内に出せたでしょうか。

ひとつひとつのことをしっかりと行っていくことがこの三学期は大切になってきます。

次々に行くことがあり、忙しいかもしれませんが、焦らず、計画的に行っていきましょう。

《出願指導・面接指導》

今日から、受験する私立・専修学校ごとに集まって、出願指導、面接指導、事前指導が行われます。

①出願指導

どのメンバーで、どのようなルートで出願に行くのかを打ち合わせします。なので、この指導がある日までに、一人一人が受験校までのルートを調べておかなければなりません。そして、電車やバス代がいくらののかも調べてください。

それぞれが調べたルートで一番適切なものに一本化して、みんなで出願に行く計画を立てます。

②面接指導

私立受験・公立受検にかかわらず、必ず一人一回は面接指導を行います。

今まで受けてきた面接学習を思い出して、本番のような形式で行います。事前に冊子「**新面接の答え方**」を読み、質問事項に対しての準備をしておきましょう。

③事前指導

試験当日の注意事項を確認します。当日は公共交通機関(電車・バス)などを利用します。おうちの人に送ってもらおうと考えている人もい

たかもしれませんが、渋滞などで遅刻した場合は、入試での特別な措置は全くありません。

一方、公共交通機関を利用するメリットは時間に正確ということです。そして、何かあったときも公共交通機関を利用していたとあれば、何らかの措置をとってくれる可能性があるからです。

ただし、時間に余裕を持って利用することは忘れずに。このような、持ち物、服装、時間、ルートなどの確認をします。

これから始まっていく指導では、必ずメモをとるようにしてください。

自分にとって大切な情報ばかりです。「あとで友達に聞けばいいや」というのはもう通用しないことばかりです。入試は、学力をはかるだけでなく、時間に間に合うか、身だしなみはどうかというような生活の様子も見られるのです。

《進路の豆知識⑭》

～時計がない！？～

受験する学校によっては、会場に時計がない場合があります。「えっ！試験の時間配分がわからないじゃん」と当日分かってからでは、遅いですね。どうすればいいか…

簡単なことです。自分で腕時計を持って行くのです。しかも、アナログ式のものがベストです。

デジタル式のものには計算機能がついていたり様々な機能がついていて、受験校側が許可しない場合もあります。

また、公共交通機関を利用する場合にも時計は必要ですね。これからは、自分で時計を見て行動できなくてはなりません。

しっかりと受験する学校の要項を読んで、準備を進めていきましょう。

